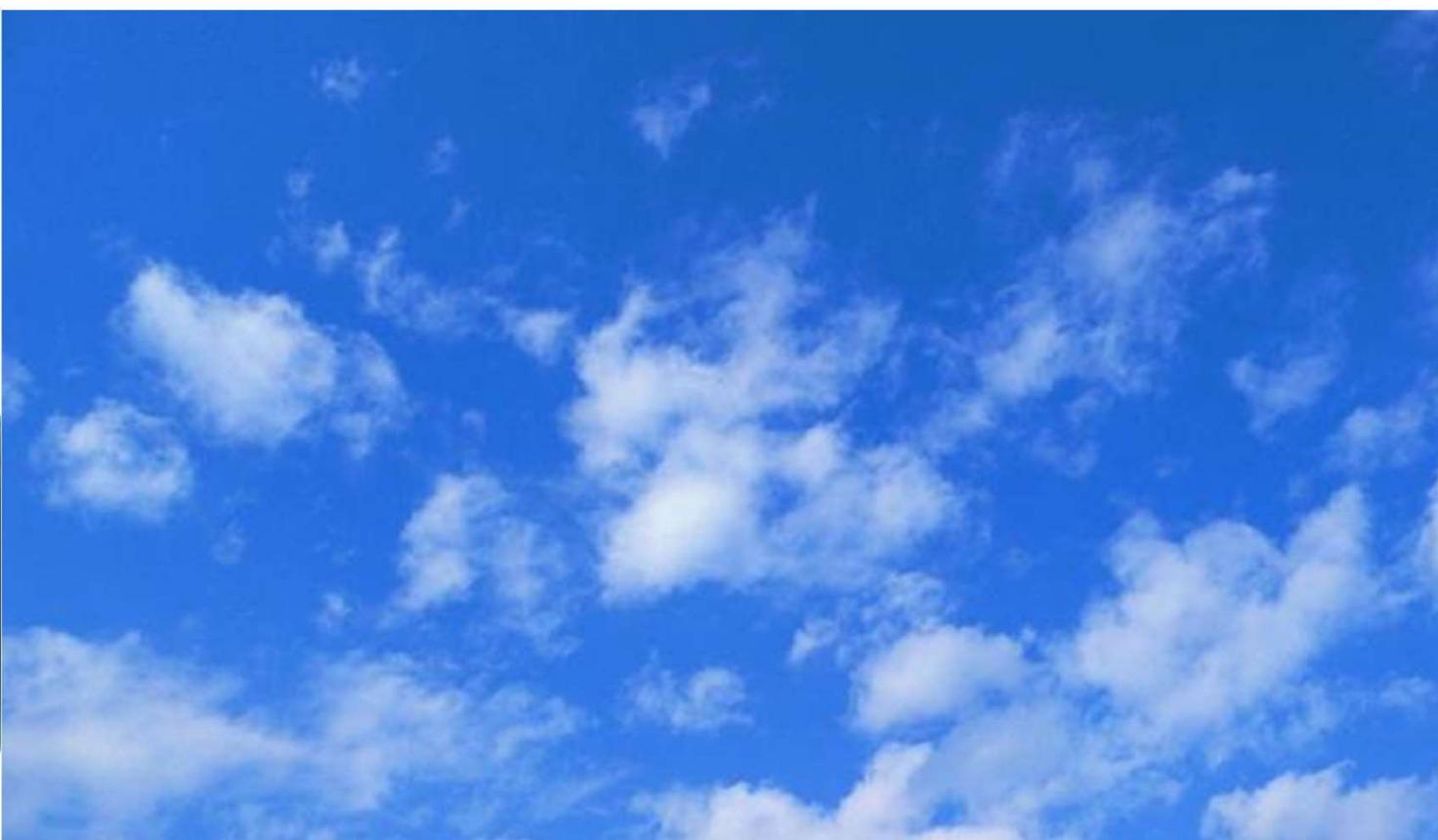


MAKOTO



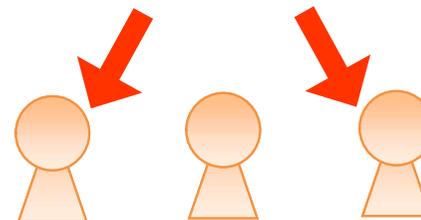
株式会社MAKOTO
代表取締役 竹井智宏

MAKOTOとは
東北から強い事業を作る事業創造会社。



事業創造会社

MAKOTO



グループ内、グループ外、問わず革新的な事業を地域に創造すべく、取り組んでいます。

MAKOTOグループ

「人が幸せに生きられる社会を作る」



社会課題解決を事業創造でやる。強い事業を作り、命を守り輝かせる。

そのために私達は、互いに助け合い、力を掛け算していく「フラット型の同志連合」としてグループを構築し、事業立上げを行って来ました。

<グループ概要>

企業数	4社
総人員数	39名
総売上	約3億円（今期5億予定）
コンセプト	「フェア」「シェア」「共進化」

グループ企業各社の概要

株式会社MAKOTO

- ・グループ全体運営
- ・グループ各社支援
- ・新事業創造
- ・バックオフィス



MAKOTO

株式会社MAKOTO WILL

- ・自治体課題解決事業

東北全域で自治体と協働。24自治体と連携。



MAKOTO will

株式会社MAKOTOキャピタル

- ・VC事業
- ・アクセラレータ事業
- ・コンサル事業

18億のファンド運営。
KDDI、東北大学と連携し起業支援・企業支援。



MAKOTO CAPITAL

株式会社BIZVAL

- ・M&Aアドバイザー

東証2部STIフードホールディングス社による、石巻のヤマトミ社（水産加工）のM&A支援実績あり。



BIZVAL

強い事業を生み出す、スタートアップ創出エンジン

MAKOTO CAPITAL

ベンチャー キャピタル事業

KDDIとMAKOTO

スタートアップの発掘・育成による地方創生に向け
包括的パートナーシップを構築

(2019年7月23日～)



河北新報



日経新聞



アダソンズ（仙台）



epist主催大学発ベンチャーピッチコンテストで
全国優勝

東北大学発ベンチャー

東北大学の独自技術「参照系AI（AI-R）」を活用した、AIスタートアップ。アルゴリズム段階から革新性のある、AIスタートアップは、世界でも稀。ABEJA等、AIベンダーも「自分達ではできないことができる技術」と高評価。



ポケットマルシェ（花巻）



POCKETMARCHÉ

ポケットマルシェは農家・漁師が直接生産物を販売できる固定費無料の産直サイト。農家や漁師の方が直販を簡単に始めることができ、消費者とコミュニケーションをすることができる。創業者の高橋博之さんは、東日本大震災を契機に起業。業界トップクラスに成長。



ポケットマルシェは全国の農家さん・漁師さんと会話しながら食材を買うスマホアプリです。



強い事業を生み出す、スタートアップ創出エンジン

MAKOTO CAPITAL

アクセラレータ事業

仙台市と連携し、世界級ベンチャーを育てる 「東北グロースアクセラレーター」を展開

- 東北6県の有望ベンチャー企業を選抜し、成功事例に育て上げる育成プログラム。
- 仙台市の受託事業だが、東北全域がカバー領域。東北6県のベンチャーを網羅的に発掘。ICTや大学シーズを活用したスケール型ベンチャーを育成。



東北大学スタートアップガレージ



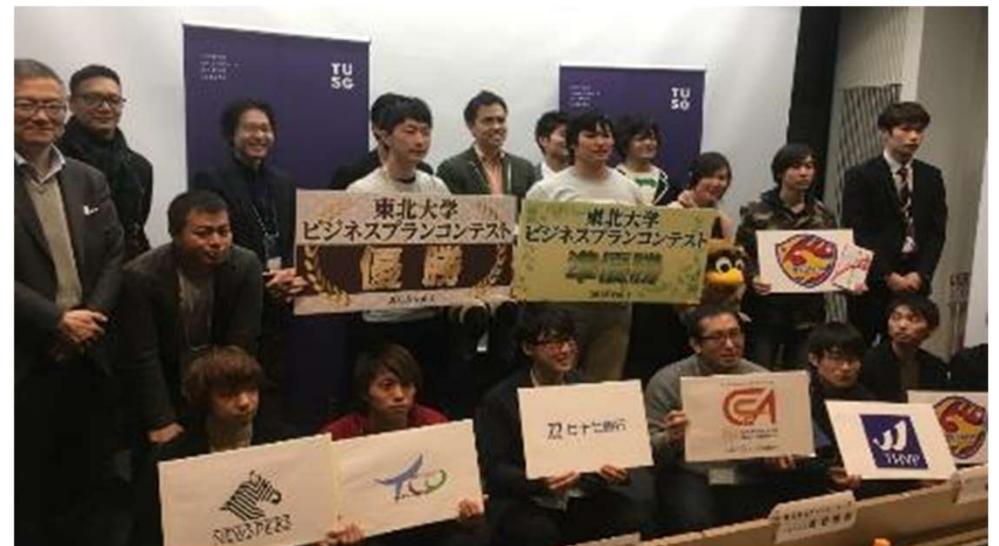
東北大学スタートアップガレージを開始
「2030年までに、
東北大発ベンチャーを100社に！！」



スタートアップイベントは超満員



学内に拠点開設、大学発ベンチャーの
相談・支援を実施（教員、院生、学生）。



ビジネスコンテストを企画運営
首都圏VCからも高い評価

東北の変化・成果

東北では、東日本大震災以降の取組みが蓄積し、スタートアップエコシステムも開花寸前

- エコシステム構築は、最終フェーズ。
当社は、これまで800名以上の起業家と関わり、育成プログラム受講者数は300人以上。
- 各コンテストで東北勢の入賞が増加
(JVAでTESS、ICCカタパルトでGRA、IVSでポケマル、NEDO TCPピッチコンテストで最優秀賞&優秀賞、JST大学発ベンチャー表彰で1位2位)
- 仙台では、2月は起業家月間。1か月で33イベント開催。



J-startup

「世界で戦い、勝てるスタートアップ企業を生み出す」

経産省推進 スタートアップ支援プログラム



世界で勝てるスタートアップを認定。

「J-Startup」49社を追加認定

うち 9社 が東北のスタートアップ

日本のスタートアップに
次の成長を。
世界に次の革新を。

東北大学発 ベンチャー企業数 増加中

経済産業省の統計によれば、



東北大学

2017年度

86



2019年度

121社

2年で、**35**社増

経済産業省「大学発ベンチャー実態等調査」

<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200515003/20200515003.html>

国内スタートアップ 想定時価総額ランキング最新版（2020年2月3日時点）

順位	社名	事業内容	想定時価総額 (億円)
1	Preferred Networks	機械学習・深層学習など最先端技術の実用化	3,516
2	クリーンプラネット	凝縮系核反応を用いた新水素エネルギーの実用化研究	1,298
3	TBM	紙やプラスチックの代替となる新素材「LIMEX」	1,218
4	リキッドグループ	仮想通貨取引に流動性を提供する金融サービス「Liquid by Quoine」	1,160
5	スマートニュース	スマートデバイスに特化したニュースアプリ「SmartNews」	1,128
6	TRIPLE-1	半導体のシステム「KAMIKAZE」の開発	1,032
7	Spiber	人工合成クモ糸「クモノス (QMONOS)」	1,005
8	パネイル	電力小売プラットフォーム「Panair Cloud」	801
9	Paidy	後払い決済サービス「Paidy」	624
10	ティアフォー	「Autoware」を活用した自動運転システムの開発	531
11	FiNC Technologies	AIを活用したヘルスケアアプリ「FiNC」	502
12	アストロスケールホールディングス	スペース・デブリの除去技術の開発	485
13	Global Mobility Service	FinTech+IoTが実現する自動車オートローンサービス	474
14	ジェネシスヘルスケア	自宅でできる遺伝子検査キット「GeneLife」など	470
15	ブレイド	自由なコミュニケーションを実現するCXプラットフォーム	460
16	ウェルスナビ	資産運用ロボアドバイザー「WealthNavi」	450
17	ZMP	自動運転システム「RoboCar」など	440
18	エリーパワー	大型リチウムイオン電池および蓄電システムの開発	430
19	Blue Planet-works	OSプロテクト型セキュリティプラットフォーム「AppG」	420
20	ビズリーチ	即戦力人材に特化した人材プラットフォーム「BIZREACH」など	357

東北大学技術→
工場が東北→

本社が山形県→



MAKOTO

全ては、100年後の未来のために。